

日本ラテンアメリカ学会第29回定期大会プログラム

6月7日(土) 10:00~12:00 分科会・パネル

●パネルA キューバの現在

特別会議室

コーディネーター・司会 後藤 政子（神奈川大学）

発表 小池 康弘（愛知県立大学）・灘久美子（日本国際協力センター）

革命にとって安全な国際関係の構築：ソフト・パワーとしての白衣外交と
キューバの対外関係

宇野 健也（外務省）日本の対キューバ経済援助

工藤 多香子（慶応義塾大学）現代キューバ社会におけるサンテリア信者集団

山岡 加奈子（アジア経済研究所）キューバにおける国家・社会関係：ベトナムとの
比較

●パネルB 民衆の音楽、舞踊実践にみるアイデンティティ形成過程：

キューバ、ボリビア、ブラジルのフィールドから マルチメディアルーム

コーディネーター・司会 渡会 環（上智大学大学院生）

発表 倉田 量介（東京大学・放送大学）音楽実践の分析を通じた「若者」研究の試み
- キューバにおけるレゲトン（Reggaeton） -

梅崎 かほり（慶応義塾大学大学院生）アフロ系ボリビア人のアイデンティティ
構築 - 文化運動とサヤの実演を通して -

渡会 環（上智大学大学院生）グローバル化時代の日系ブラジル人のアイデン
ティティ形成過程 - YOSAKOI SORAN を事例に -

◆分科会1 政治・文化

第3会議室

司会 畑 恵子（早稲田大学）

発表 林 みどり（立教大学）「記憶の文化」と失踪者 - アルゼンチンにおけるメモリア
ル、アート、証言の現在 -

中島 さやか（明治学院大学）文化創造・制度化の試み - 20世紀前半までのチリ
芸術分野を中心に -

金澤 直也（東京大学大学院生）世界銀行の「我々のルーツ」プログラムと
ガリフナの土地問題 - ネオリベラル多文化主義をめぐる一考察 -

笠原 樹也（神戸大学大学院生）ペルー軍における自主クーデターの意義
- フジモリ政権初期の政軍関係に関する一考察 -

◆分科会2 移民

第4会議室

司会 田島 久歳（城西国際大学）

発表 エリカ・ロッシ（一橋大学大学院生）移民の音/声：チチャ音楽とペルー人の
国際移動

寺澤 宏美（名古屋大学大学院生）在日日系ペルー人のアイデンティティに
関する考察

Bernardo Astigueta（神奈川県立外語短期大学）Aportes de los inmigrantes de
habla hispánica a la formación de una sociedad multicultural en Japón

6月7日(土) 14:00~16:00 分科会・パネル

●パネルC 政治意識と政治参加をめぐる比較のパーспекティブ

- グアテマラとペルーの事例からみえてくるもの 特別会議室

コーディネーター・司会 山脇 千賀子（文教大学）

発表 狐崎 知己（専修大学）

本谷 裕子（慶応義塾大学）

村上 勇介（京都大学）

山脇 千賀子（文教大学）

コメンテーター 出岡 直也（慶応義塾大学）

◆分科会3 宗教

マルチメディアールーム

司会 大久保 教宏（慶応義塾大学）

発表 渡部 奈々（早稲田大学大学院生）アルゼンチンにおけるペンテコステ教会の現状
武田 由紀子（神戸市外国語大学大学院）チアパスのネオペンテコスタリズム：
アラス・デ・アギラ教会でのフィールドワークから

小林 貴徳（神戸市外国語大学大学院生）「貧者の味方」から「ナルコの守護者」
へ：メキシコの『鼠小僧』をめぐる宗教的動態

乗 浩子 解放の神学から先住民神学へ

◆分科会4 歴史

第3会議室

司会 横山 和加子（慶応義塾大学）

発表 谷口 智子（愛知県立大学）17 - 18 世紀偶像崇拜・魔術撲滅巡察について
- カハタンボ地方の史料から -

長尾 直洋（三重大学）植民地期南米を巡る先住民表象の多元性に関する
一考察 - 16 世紀末から 17 世紀初頭における Fuegian 表象 -

大平 秀一（東海大学）エル・ドラード神話とインカ・イメージ

松久 玲子（同志社大学）エレナ・トレスとメキシコ革命期の農村教育 - フェミニ
ズム運動と近代公教育の形成に関する一考察 -

◆分科会5 米国のラティーン

第4会議室

司会 牛田 千鶴（南山大学）

発表 渡辺 暁（駿河台大学）アメリカ合衆国におけるメキシコ系移民とメキシコ政府
中川 正紀（フェリス女学院大学）米国カリフォルニア州ロサンジェルス郡におけ
るラティーン住民の階層差と政治意識：現地でのアンケート調査結果をも
とに

二瓶 マリ子（東京大学大学院生）米国の芸術文化政策とメキシコ系米国人の芸術
文化活動：1970年代 Luis Valdez の演劇活動を中心に

6月7日(土) 16:15~17:15

■ 記念講演

国際会議室

講演者 ビクトル・ウゴ・カルデナス氏
（元ボリビア共和国副大統領）

演題「先住民と民主主義：ボリビア、エクアドルを事例に」（仮題）

6月7日(土) 17:30~18:30 総会

国際会議室

6月7日(土) 18:30~20:00 懇親会

大学会館プラザ

6月8日(日) 10:00~12:00 分科会・パネル

●パネルD 地方公共政策の改善を通じたポスト・ジェノサイド社会の再編
- グアテマラへの国際協力の事例 -

特別会議室

コーディネーター・司会 狐崎 知己（専修大学）

発表 狐崎 知己（専修大学）マクロ：グアテマラ和平協定とガバナンス
中村 雄祐（東京大学）ミクロ：地域リーダーと文書管理
浜下 賢（東京大学）ナノ：先住民教育と能力開発
久松 佳影（東洋大学）メソ：地域経済の振興

●パネルE ラテンアメリカの急進左派政権

マルチメディアルーム

コーディネーター・司会 宇佐見 耕一（アジア経済研究所）

発表 林 和宏（在ベネズエラ日本大使館専門調査員）

ベネズエラ統一社会党の結成と参加型民主主義の試練

坂口 安紀（アジア経済研究所）

チャベス政権の経済社会政策とボリバル革命の展望

遅野井 茂雄（筑波大学）ボリビア：モラレス政権の「民主的革命」の現在

新木 秀和（神奈川大学）エクアドル：コレア政権をどう見るか

●パネルF ディアスポラのデカセーギの精神生活の諸相

第3会議室

コーディネーター・司会 田島 久歳（城西国際大学）

発表 鈴木 康之（外国人就労者相互扶助組織代表）

山田 政信（天理大学）

アンジェロ・イシ（武蔵大学）

6月8日(日) 13:30~16:30 シンポジウム

国際会議室

■ 転換期ラテンアメリカと日本の対応

司会 遅野井 茂雄（筑波大学）

基調講演 三輪 昭（外務省中南米局長）

「最近の中南米情勢と我が国の対中南米外交」

パネリスト 細野 昭雄（前エルサルバドル大使）：経済開発支援のあり方

堀坂 浩太郎（上智大学）：日本人ブラジル移住100周年・日伯交流年、
中国の台頭等を踏まえて

坂野 正典（住友商事総合研究所代表取締役）

：日本企業の中南米戦略の現状と課題

磯田 正美（筑波大学教育開発国際協力研究センター）

：教育開発支援の経験から

コメンテーター 恒川 恵市（政策研究大学院大学）